

“急性期病院におけるフレイル予防の意義について”に関する研究

1. 研究の対象

2021年9月～2022年12月31日までフレイルについての質問票に答えた入院患者さん

2. 研究目的・方法

急性期病院における通院・入院患者のフレイルの状況を把握し、的確なサポートの方法・効果を検証する。質問票を用いた個々の患者さんの状態の把握と対応についての調査研究。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

患者さんの年齢 疾患 治療歴 質問票に掲載された事項（介護支援 握力 等）とそれに基づいたフレイル評価とその対策 疾患のアウトカム など

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。申し出をいただいた時点で、既に学会や論文として発表されている場合は取り消しができないこともあります。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

山梨県立中央病院 外科 中込 博

〒400-8506 山梨県甲府市富士見一丁目1番1号 TEL：055-253-7111（代表）

研究責任者：

地方独立行政法人山梨県立病院機構・山梨県立中央病院

院長（乳腺外科）

中込 博